

平成25年度 学校自己評価システムシート (さいたま市立大宮北高等学校)

目指す学校像	「自主・自律・創造」の校訓のもと、生徒の「生きる力」を育み、自らの「志」に向かって努力し、生涯にわたって社会に貢献できる人材を育成する。
--------	--

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 主体的な学習態度を育てるとともに授業の質を向上させ、確かな学力を身に付けさせる。 理数科教育の推進を起点にして生徒の「志」を育み、個々の進路実現を支援する。 北高生としての品格を高め、健全な心身と豊かな人間性を育む。 地域に信頼される開かれた学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者		
学校関係者	6名	
生徒	3名	
事務局(教職員)	6名	

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学校自己評価								学校関係者評価	
年度目標					年度評価			実施日平成26年2月14日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況【中間評価】	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<ul style="list-style-type: none"> 授業は静粛に受けているが、積極的に質問・発言する姿勢に乏しい。家庭学習では、時間毎日勉強している生徒が3割に満たない現状である。模擬試験・進学補習等を活用させ、家庭学習の習慣や自学自習力を身に付けさせたい。 授業に対する保護者満足度が49%であることから更に質の高い授業が求められる。各教科ひいては全職員が丸となって指導内容の充実を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力と自学自習力の向上 チームとしての授業改善の取組 	<ol style="list-style-type: none"> 自習室等を設置し、生徒の自学力を向上させるよう学習環境を整備する。 シラバス等を活用し、授業の達成目標を把握させ、自学自習による勉強方法を明確に指導する。 行事の精選を図り、授業時間を確保するなど、生徒がめりはりのある学校生活を送れるよう指導する。 	<ol style="list-style-type: none"> 自習室等を設置し、その管理システムが構築できたか、また生徒が積極的に利用しているか。 勉強方法を的確に生徒に提示し、家庭学習時間が増加したか。 行事を精選し、授業時数の増加ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 7月に自習室を設置し、3学年を中心に多数利用した。(夏季休業中に延べ700名以上利用、平日も満席) 3学年の平日家庭学習時間は1.74時間(昨年度1.48h)に延びた。(11月授業アンケートから) 平成26年度年間行事予定を変更し、行事の精選を図った。 学力向上セミナー、市立高校授業研究会等の外部研修へ積極的に参加した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導は、保護者満足度49%であった。学力向上・授業改善の工夫・改善(「教えて考えさせる授業」等) 自学自習力向上に向けた生徒の意識改革と具体的方策の検討(講演会、進路面談等) 進学指導重点校としての学校行事の在り方を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> PTA総会での保護者の要望にすぐ対応し、1学期中には自習室が完成した。受験生が有効に活用でき、ありがたかった。 学習指導に対する保護者満足度が前年度と変わらず低かったことから抜本的な対策が求められる。 学校行事の見直しを進め、生徒が落ち着いて学習に集中できると良い。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 入学時の進路希望調査では、9割以上が4年制大学を希望し、その内、約6割の生徒が国公立大学を希望している。しかし、卒業時に国立進学者は10名程度である。 進路実現のための具体的な目標や勉強の計画が不十分で、3年の夏にならないと受験勉強に取りかかれない生徒が目立つ。1学年から意識改革を図り一人ひとりの進路実現を積極的に支援する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 理数科教育の推進 一人ひとりの第一希望の進路実現 	<ol style="list-style-type: none"> 理数科アドバイザー構想による大学研究者等からのアドバイを受け、理数科設置に向けた具体的な準備を進める。 理数科リーフレット作成や理数科体験入学等を実施し、積極的な生徒募集を推進する。 生徒を公募し、理数科教育関係の各種イベントに積極的に参加させる。 	<ol style="list-style-type: none"> 理数科教育アドバイザーの積極的な活用ができたか。 広報誌作成や体験入学等が生徒募集に役立ったか。 次年度理数科設置に向けた理数科行事の開拓ができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 理数科アドバイザーの支援を受け、サタディスペシャル講演会やスーパーサイエンスハイスクールの申請を提出することができた。 学習塾対象入試説明会、中学校進路担当対象説明会、1月入試相談会を新たに実施し、生徒募集に役立った。 学習記録を有効利用したり、3年生センター試験データリサーチを活用して「志」を育む進路面談を行った。 進路日より学年通信で保護者に適切に情報発信した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 小・中・高・大学を結ぶ地域理数教育ネットワークづくりを推進する。 HiSEPと連携した課題研究やアウトリーチ活動を円滑に進める。 進路指導に関する保護者満足度は52%であった。進学指導重点校としての進路指導体制の充実を図り、志を育むキャリア教育を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 科学の世界は国境を超え、共同研究がほとんどである。理数教育におけるコミュニケーション能力の育成が重要な課題である。 センター試験後の国公立面談など、丁寧な進路指導に感謝している。 3年生が部活引退後、受験勉強に熱心に取り組んでいる様子が保護者にも伝わってきた。 	
3	<ul style="list-style-type: none"> ほとんどの生徒が落ち着いた学校生活を送っているが、制服を着崩したり、交通マナーや規範意識が希薄な生徒がいる。 北高生としての品格と言動を身に付けるとともに、部活動、学校行事等教育活動全般を通して健全な心身と豊かな人間性の育成に取り組んでいく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導の徹底と校則の遵守 豊かな人間性の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 登校指導、遅刻指導、自転車指導、頭髪・服装指導を組織的・計画的に実施し、校則を遵守する態度を育成する。 交通安全教室や薬物乱用教室等で外部講師を活用し、生徒の規範意識を高める。 いじめ、ネット・携帯電話トラブル等の対応を中心に生徒指導規定の見直しを図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 登校指導、遅刻指導、頭髪・服装指導等を組織的・計画的に実施できたか。 交通安全教室や薬物乱用教室を実施できたか。 生徒指導内規の見直しができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期から生徒の品格を高めるための整容指導を徹底し、女子の短いスカートが激減した。 1年生の生徒が発表する自転車マナーアップ伝達講習会を実施した。自転車事故の発生件数は依然多い。 教育相談委員会が中心になり、スクールカウンセラーの円滑な活用と学校全体の教育相談体制を整備した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導に関する保護者満足度は、68%、部活動は66%を向上させたい。 北高生としての品格を持ち、落ち着いた学校生活を送るよう、引き続き交通安全指導・整容指導や規範意識を高める指導に力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 3学期からスカートの重点指導があり、学校の雰囲気が大きく変わった。宮原駅周辺でも短いスカートが減ってきたのが分かる。 道路交通法の改正もあり、自転車の事故防止は重要。生徒が中心になって自転車マナーアップに取り組むとよい。 	
4	<ul style="list-style-type: none"> 学校HPの刷新により、アクセス数が年々増加し、土曜授業や全教員による中学校訪問で本校への良い評価が得られている。引き続き保護者・地域へ積極的に情報発信し、開かれた学校づくりを推進していく。 危機管理体制を確立し、地域に信頼される安心・安全な学校づくりに努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 開かれた学校づくりの推進 危機管理体制の確立 	<ol style="list-style-type: none"> 土曜公開授業参加者数の前年度比10%増を目指す。 学校HPのタイムリーな更新と学校案内パンフレットの質の向上により、中学生やその保護者並びに地域に対し、本校の良さを積極的にPRする。 全教員による中学校訪問、中学校への出前授業、中学校PTAの学校訪問・上級学校訪問等で中学校との連携を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> 土曜公開授業の参加者数が前年度比10%増増加したか。 学校HP更新頻度とアクセス数が増加したか。 関係中学校との交流回数を増やし、連携が図れたか。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜授業に合わせて学校説明会を7回実施し、1595名の中学生が参加、前年度より222名増加した。 学校HPの充実により平均アクセス数は350人/1日(20%増)となった。 全教員で中学校、学習塾訪問を実施した。中学校PTAの学校訪問・上級学校訪問等の要望に応えた。 安心メールを活用して保護者等に緊急情報を発信した。 保健管理部が美化活動に取り組み、昇降口等の衛生面が劇的に改善した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 世界に開かれた学校づくりを推進する。グローバルリーダーを育成するため、社会問題ビジネス課題に関する課題研究や英語学習を通してコミュニケーション能力を向上させる。 地域防災計画、危機管理マニュアルに基づく訓練や備蓄の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 土曜授業の1日を有効活用し、自主的な学習の機会となるように。 理数科設置により生徒募集に良い効果が現れた。志望理由に通学時間を挙げる生徒が多いが、目的意識の高い生徒が集まるようになるのではないかと。 生徒昇降口など学校美化に取り組んでもらった。トイレもきれいになると良い。 	

